

「死にたい」と うちあけられたら…

平成24年度
自殺対策啓発講演会

参加
無料

誰にでもところが苦しいときがあります。

身近な人が悩んでいたら、死にたいとうちあけられたら、あなたならどうしますか？

死にたいと思うほど苦しい気持ちや背景についていっしょに考えてみませんか。

日時 平成24年9月22日(土) 13:30~15:30(開場13:00)

会場 ウェルとばた 3階 大ホール (戸畑区汐井町1番6号)

対象/どなたでも参加できます。

定員/500名 ※事前申し込みが必要。応募者多数の場合は抽選。

申込方法/裏面の申込書を郵送またはFAXで送付するか、はがきに必要事項を記載して郵送ください。

(申込先)北九州市立精神保健福祉センター FAX 093-522-8776

〒802-8560 北九州市小倉北区馬借一丁目7番1号

(申込締切) **9月14日(金)必着**

プログラム

13:30 [10分] 開会・あいさつ

13:40 [20分] オリエンテーション
「北九州市の現状について」

14:00 [90分] 講演
自殺予防総合対策センター 副センター長
松本俊彦氏

15:30 閉会



講師プロフィール

自殺予防総合対策センター
副センター長

松本俊彦氏

独立行政法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所で、薬物依存研究部診断治療開発研究室長、自殺予防総合対策センター副センター長の職にあり、依存症や自殺予防対策に関し、臨床体験に基づいた実践的な視点から啓蒙・啓発活動を行っている。

主著として、「薬物依存の理解と援助—『故意に自分の健康を害する』症候群」(金剛出版, 2005)、「自傷行為の理解と援助—『故意に自分の健康を害する』若者たち」(日本評論社, 2009)、「アディクションとしての自傷行為—『故意に自分の健康を害する』行動の精神病理」(星和書店, 2011)、「薬物・アルコール依存症からの回復支援ワークブック」(金剛出版, 2011)など。他に自傷・自殺、薬物依存に関する分担執筆書や訳書多数。

主催/北九州市

後援/福岡県警察本部、福岡労働局、福岡県弁護士会北九州部会、法テラス北九州、社団法人北九州市医師会、公益社団法人北九州市薬剤師会、

学校法人産業医科大学、社団法人福岡県精神科病院協会北九州ブロック、福岡県精神神経科診療所協会、北九州商工会議所、

一般社団法人北九州中小企業経営者協会、社会福祉法人北九州いのちの電話、社会福祉法人北九州市社会福祉協議会、北九州市民生委員児童委員協議会、

福岡県臨床心理士会、北九州地区精神保健福祉士協会、リメンバー福岡自死遺族の集い(順不同)

お問い合わせ 北九州市立精神保健福祉センター TEL093-522-8729 FAX093-522-8776

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

印刷物登録番号
1210050D

平成24年度自殺対策啓発講演会

「死にたい」とうちあけられたら…

参加申込書

申込方法／申込書を郵送またはFAXで送付するか、はがきに必要事項を記載して郵送ください。

申込先／北九州市立精神保健福祉センター 〒802-8560 北九州市小倉北区馬借一丁目7番1号

FAX 093-522-8776

参加無料

申込書／申込書(またははがき)1枚で5名様までお申し込みができます。

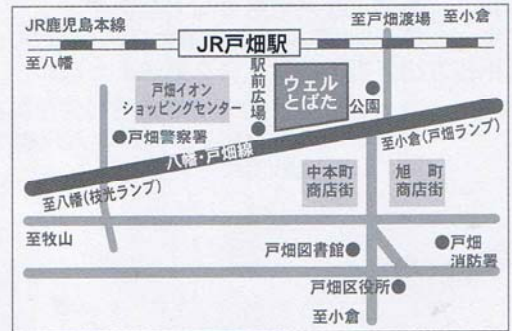
参加者数	名	代表者氏名	
代表者の電話番号		代表者の住所	(〒 -)
利用を希望される方は○印をお願いします。 ※当日、受付にてお申し出下さい。ご案内致します。		手話通訳 ・ 要約筆記 ・ 車いす席	

※応募者多数の場合は抽選になります。 ※抽選に落選した場合のみ、連絡致します。参加可能な場合は、参加証の発行や連絡は行いません。 ※ご記入いただいた個人情報は講演会の申込手続きのみに使用します。

【応募締切】9月14日(金)必着

交通アクセス

- JRで来られる方…JR鹿児島本線「戸畑駅」南口から徒歩1分。
- バスで来られる方…
 - ・市営バス「戸畑駅」行き「戸畑駅」で下車。バス停より徒歩1分。
 - ・西鉄バス「戸畑渡場」または「戸畑駅」行き「戸畑駅」で下車。バス停より徒歩1分。
- 車で来られる方…
 - ・北九州都市高速で来られる方は、「戸畑」ランプから約3分。
 - ・八幡方面からは「枝光」ランプから約5分。



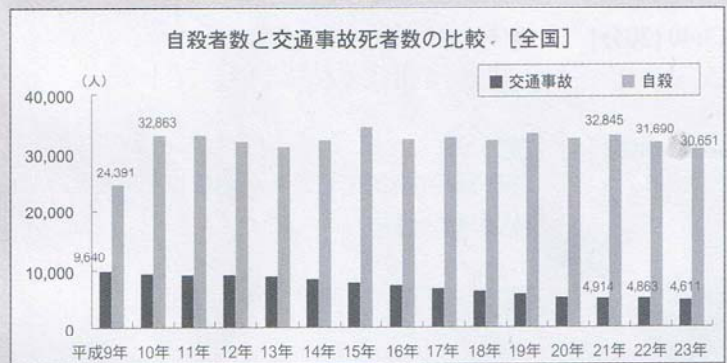
会場 ウェルとばた 3階 大ホール 北九州市戸畑区汐井町1-6

なぜ、いま自殺対策が必要なの？

我が国の自殺者数は、平成10年以降14年続けて年間3万人を超え、交通事故死者数の約7倍にも及ぶ世界の先進国の中でも非常に高い水準で推移しています。

北九州市でも、年間200人を超える方が自殺でその命を落とされており、その数は全国的にみても決して少ない数ではありません。

現下の経済・雇用情勢では、さらなる自殺者の増加が危惧され、地域における自殺対策の緊急な強化が求められています。



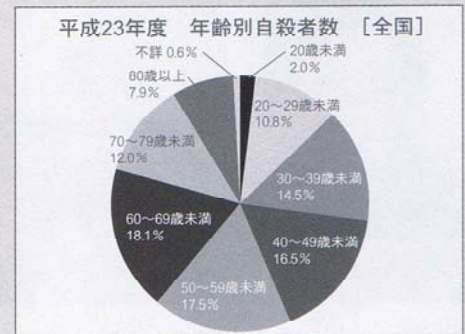
若者と自殺

年代別にみると、自殺者数が急増した平成10年以降、40歳代以上では低下傾向にある一方、20歳代及び30歳代で自殺死亡率が高まる傾向にあります。

国際的に見ても、15～34歳の若い世代で死因の第1位が自殺となっているのは、先進7カ国では日本のみで、自殺死亡率も他の国に比べて高いものとなっています。

また、職業別では、近年「学生・生徒等」が微増しており、平成23年は1,029人と初めて1千人を上回るなど、我が国における若い世代の自殺は深刻な状況にあると言えます。

不安定な経済・雇用情勢を背景に、若者を取り巻く状況は北九州市においても同様で、アルコール・ギャンブル等の依存症、社会的ひきこもり等の問題とともに、広く社会の問題として、さまざまな地域の若者支援機関と連携しながら、対策を進めることが大切です。



ひとりで悩まず相談しましょう [北九州市自殺予防こころの相談電話]

☎093-522-0874 【月～金 9:00～17:00(祝休日・年末年始は除く)】

※自殺予防週間中の9/10(月)～14(金)は、9:00～21:00まで開設時間を延長します(「九州・沖縄・山口一斉電話相談」実施のため)